

梅雨期の災害に備えて 日頃から準備を



今年の
台風の様子



6月は梅雨に入り、大雨や長雨による災害が発生しやすくなります。

本県では、毎年のように各地でがけ崩れや土石流などが発生し、これまで多くの尊い人命や財産が失われています。

普段から家のまわりの危険箇所を確認し、災害に備えて避難場所・避難経路について地域や家庭で対策をたてる必要があります。

日頃から次のようなことに注意しましょう

●危険の察知

土砂災害の危険を早めに察知するため、家の周囲に普段と変わった現象（地割れなど）がないか、日頃から点検しましょう。

●気象情報に注意

テレビ・ラジオ等で、常に新しい気象情報を得るように注意し、危険を感じたら早めに避難しましょう。



土砂災害の種類と前兆現象

【土石流】

- ・山鳴りがする。
- ・雨がふり続けているのに川の流が濁り、水位が下がる。



【がけ崩れ】

- ・がけから水が湧き出る。
- ・地下水や湧水が止まる。
- ・がけに亀裂が入る。



- ・地面にひび割れが起きる。
- ・井戸や沢の水が濁る。
- ・がけや斜面から水が噴き出す。
- ・家や擁壁に亀裂が入る。



わが家の防災対策

●屋外

- ・瓦やトタンにひび割れ・はがれ等はないか。
- ・鉢植えや物干し竿等、飛散の危険が高いものは室内に入れておく。

●屋内

- ・停電に備えて懐中電灯や携帯ラジオの準備をする。
- ・避難に備えて貴重品などの非常持ち出し品の準備をする。
- ・病人や乳幼児、身体の不自由な人などを安全な場所へ移す。